

医療用酸素等売買単価契約 仕様書

1 調達物品及び予定数量

1	医療用液化酸素	1 3 0 , 4 9 0 kg
2	医療用液化窒素	1 0 3 , 0 6 5 kg
3	医療用酸素ガス（7 m ³ ボンベ）	6 0 本
4	医療用酸素ガス（0. 5 m ³ ボンベ）	1 , 9 2 5 本
5	医療用純正空気（7 m ³ ボンベ）	6 5 本
6	医療用窒素ガス（7 m ³ ボンベ）	1 本

2 納入場所 岐阜県多治見市前畑町5丁目161番地
岐阜県立多治見病院

3 契約期間 2026年4月1日から2027年3月31日まで

4 調達物品の条件等

- （1）酸素、窒素（液体、ボンベとも）は日本薬局方で定める純度99. 5%以上のものであり、治療・測定検査等に対し、充分に対応できるものであること。
また、純生空気ボンベは日本薬局方で定める酸素と窒素の混合によるものとし、酸素濃度 $22 \pm 1 \text{ vol\%}$ のものであること。
- （2）販売店は、供給体制が24時間体制であり、緊急時にも即対応できること。
- （3）販売店は、医薬品販売業の許可を受けたものであること。
- （4）メーカーは、医薬品製造許可及び医薬品製造承認を受けたものであること。
- （5）販売店は、高圧ガス販売業の許可（届出）を受けたものであること。
- （6）酸素ガス、窒素ガス、純生空気のバックアップ用ボンベについては、ガスのみの購入とし、販売店所有の容器により供給すること。
- （7）メーカーは、自立充填式タンクローリ車（ガス別）を所有しているものであること。

5 納入の方法

- （1）納入者は、発注を受けたとき、発注者の指定した日時・場所・数量で迅速に納入するものとする。なお、発注者が緊急に必要と判断した場合は土・日曜日、祝日その他休日であっても受注及び納入業務を行うこと。ただし、極めて緊急を要する場合には、発注後3時間以内に当院へ納入できる体制を常時整えておくこと。
- （2）納入者は初回の納入の際、事前に担当職員と十分に相談し、以後円滑に納入業務

が行われるように調整しておくこと。

- (3) 納入者は災害時等の対応として、外部電源を使用しなくても充填できる自立充填式タンクローリ車を医療用酸素・窒素用それぞれ2台以上用意し、当院に迅速に供給できる体制をとること。
- (4) 納入者は納品時に、当院職員の検査を受けるものとする。
- (5) 納入者は納品時において、医療ガス受入設備の運転状況を点検し、漏れ等異常の無いことを確認し、火災・その他の事故防止について十分な注意を払うものとする。また、建物・設備機器等に損傷を与えた場合、その損害を賠償しなければならない。
- (6) 納入者は、バックアップ用ポンベの純生空気を納入する際には、供給設備の運転状況を点検し、ポンベの接続を行い漏れ等異常のないことを確認し、院内に確実に供給できる状態にすること。
- (7) 納入者は、液体酸素・窒素受入装置とタンクローリ車間の注入口が不一致である場合は、納入者の負担により適合する接続装置を用意すること。
- (8) その他納入にあたっては、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（以下、「医薬品医療機器法」という）・高圧ガス保安法等関係法令を厳守すること。

なお、発注者が法令上の違反を確認又は知り得た場合は契約期間内であっても契約を解除することができる。この場合において、納入者に損害が出ても当院は一切その責任を負わないものとする。

6 設備に係る参考事項

- (1) 液体酸素貯槽、液体窒素貯槽、純正空気製造機は、日本エア・リキード製のものを当院が所有している。

7 その他

- (1) 本仕様書に定めのない事項について疑義を生じたときは、当院に照会し、その指示を受けるものとする。
- (2) 許可申請中の場合は、申請中であることを証明する書類を提出することとし、未申請でみなしの許可の場合は、その有効期限が確認できる書類を提出すること。
- (3) 納入量の検収は、供給前にタンクローリ車の中の医療ガスの重量をタンクローリ車の自重計により計量し、供給後再計量を行い、その差をもって算出するものとする。
- (4) 災害時における優先供給協定を締結すること。※内容については要協議